

# 「清流の国ぎふ森林・環境税」に関するアンケート調査結果

恵みの森づくり推進課

## 1 目的

県では、県民の共有財産である豊かな森林や清らかな川を保全・再生するために、「清流の国ぎふ森林・環境税（以下、「森林・環境税」という）」を導入し、水源林や里山林の整備、生物多様性や水環境の保全など「清流の国づくり」に資する事業に活用しています。

森林・環境税は、平成24年度に導入し、今年で5年目となります。森林・環境税に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の森林・環境施策の基礎資料とするために、ご意見を伺いました。

## 2 調査対象等

調査対象：県政モニター678名（うちインターネットモニター382名）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成28年11月16日～12月9日

回収結果：548名（回収率80.8%）

その他：調査結果の構成比率はパーセントで表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100.0%にならない場合があります。

## 3 結果概要

### ・森林・環境税の認知度について

「森林・環境税」の認知度は48.0%となっている（「よく知っている」4.4%、「少しは知っている」15.1%、「聞いたことはあるが内容は知らない」28.5%の合計）。一方、「全く知らない」は51.8%となっている。

また、どのように知ったかについて、「県の広報紙」が58.9%と最も高く、次いで「市町村の広報誌」（26.2%）、「チラシ・パンフレット」（19.0%）、「新聞記事」（19.0%）の順となっている。

### ・森林・環境税の使いみちについて

「森林・環境税」の使いみちについて、「よく知っている」「ある程度知っている」をあわせて44.9%、「知らない」は47.9%となっている。

また、「森林・環境税を活用した取り組み」について、最も大切だと思うものは「環境を保全するために水源林などの間伐を進める」が64.4%、次いで「身近な里山林を整備し資源の利用を進める」（41.2%）、「生物多様性や水環境の保全のため、外来生物の駆除や河川清掃を進める」（35.9%）の順となっている。

### ・森林・環境税の税率（個人年額1,000円）について

「森林・環境税の税率（額）」について、「妥当である」が54.9%と最も高く、「もっと低く設定すべき」が17.9%、「もっと高く設定すべき」が5.5%となっている。

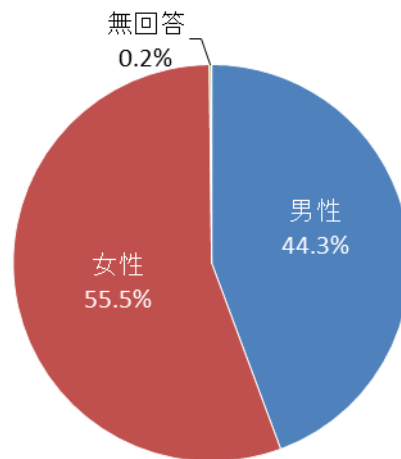
### ・近年の自然環境に対する関心について

「近年の森林や川、水環境、生物多様性、自然環境に対する関心」について、「関心は高まった」「どちらかと言えば関心は高くなった」をあわせて50.6%となっている。

## 回答者の属性

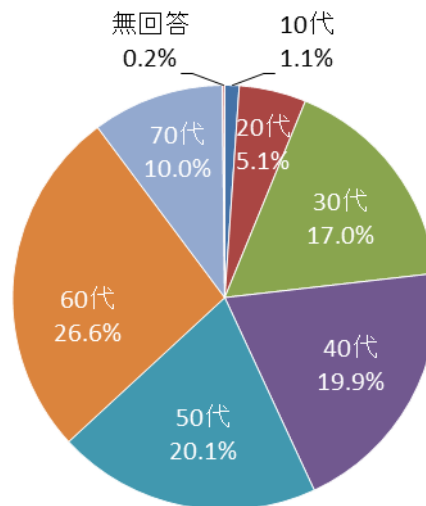
### (1) 性別

	人数	割合
男性	243	44.3%
女性	304	55.5%
無回答	1	0.2%
合計	548	100.0%



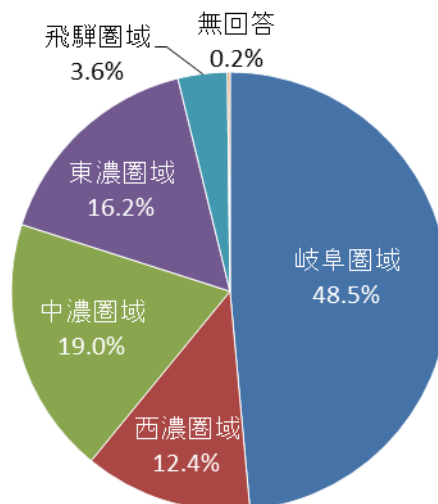
### (2) 年代別

	人数	割合
10代	6	1.1%
20代	28	5.1%
30代	93	17.0%
40代	109	19.9%
50代	110	20.1%
60代	146	26.6%
70歳以上	55	10.0%
無回答	1	0.2%
合計	548	100.0%



### (3) 居住圏域別

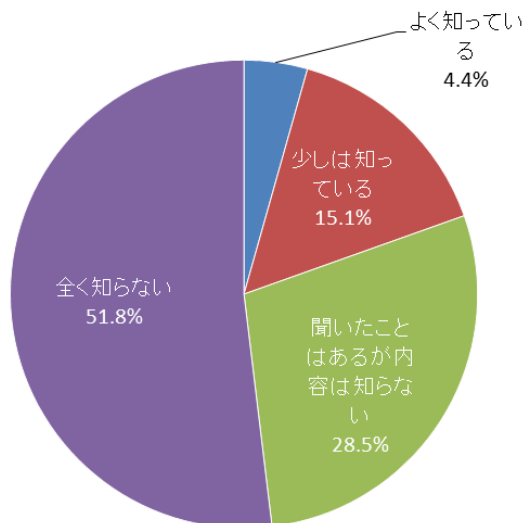
	人数	割合
岐阜圏域	266	48.5%
西濃圏域	68	12.4%
中濃圏域	104	19.0%
東濃圏域	89	16.2%
飛騨圏域	20	3.6%
無回答	1	0.2%
合計	548	100.0%



## 5 調査結果

問1 「森林・環境税」について、ご存じですか？（回答数 548 人）

	人数	割合
内容についてよく知っている	24	4.4%
内容について少しは知っている	83	15.1%
聞いたことはあるが内容は知らない	156	28.5%
全く知らない	284	51.8%
無回答	1	0.2%
合計	548	100.0%

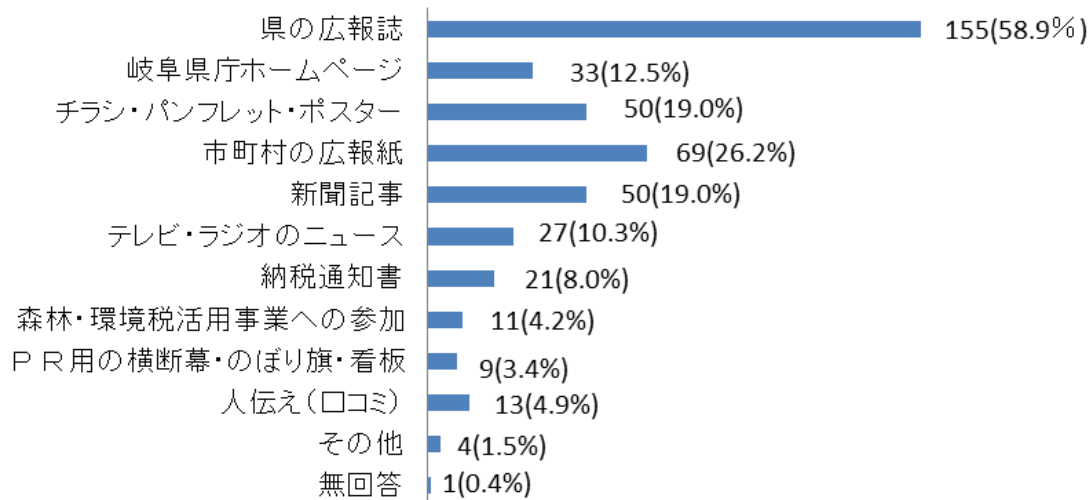


問2（問1で「知っている」「少しは知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方）  
なに（どこ）でお知りになりましたか。

（複数回答 回答数 263 人／443 件）

	件数	割合
県の広報紙	155	58.9%
岐阜県庁ホームページ	33	12.5%
チラシ・パンフレット・ポスター	50	19.0%
市町村の広報紙	69	26.2%
新聞記事	50	19.0%
テレビ・ラジオのニュース	27	10.3%
納税通知書	21	8.0%
森林・環境税活用事業への参加	11	4.2%
PR用の横断幕・のぼり旗・看板	9	3.4%
人伝え（口コミ）	13	4.9%
その他	4	1.5%
無回答	1	0.4%
合計	443	

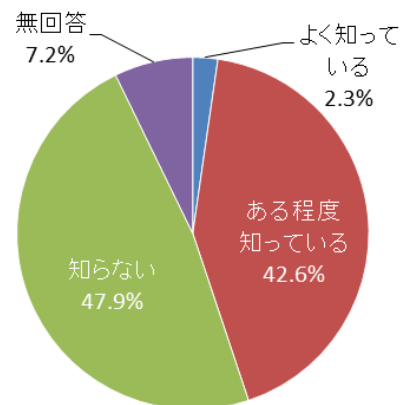
（割合は回答者数（263 人）に対する割合）



【その他】 税申告書 など

問3 (問1で「知っている」「少しは知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)  
森林・環境税の使いみちをご存じですか？  
(回答数 263 人)

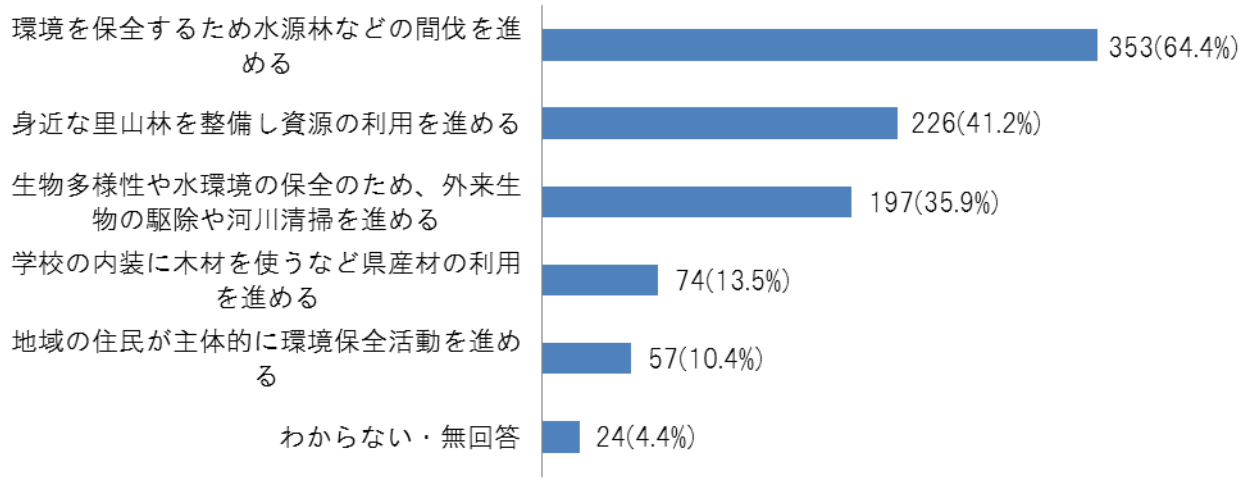
	人数	割合
よく知っている	6	2.3%
ある程度知っている	112	42.6%
知らない	126	47.9%
無回答	19	7.2%
合計	263	100.0%



問4 森林・環境税は現在、以下の取り組みに活用されています。  
あなたが大切だと思う取り組みを3つまであげてください。  
(複数回答 回答数 548 人/931 件)

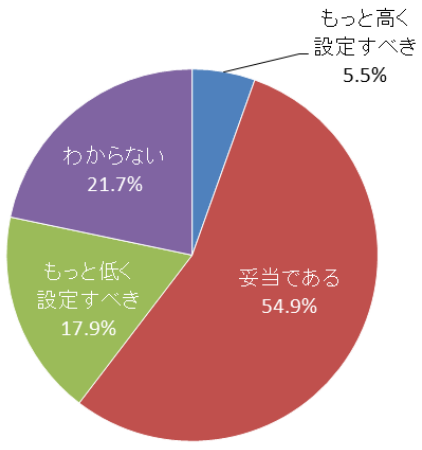
	件数	割合
環境を保全するため水源林などの間伐を進める	353	64.4%
身近な里山林を整備し資源の利用を進める	226	41.2%
生物多様性や水環境の保全のため、外来生物の駆除や河川清掃を進める	197	35.9%
学校の内装に木材を使うなど県産材の利用を進める	74	13.5%
地域の住民が主体的に環境保全活動を進める	57	10.4%
わからない・無回答	24	4.4%
合計	931	

(割合は回答者数(548人)に対する割合)



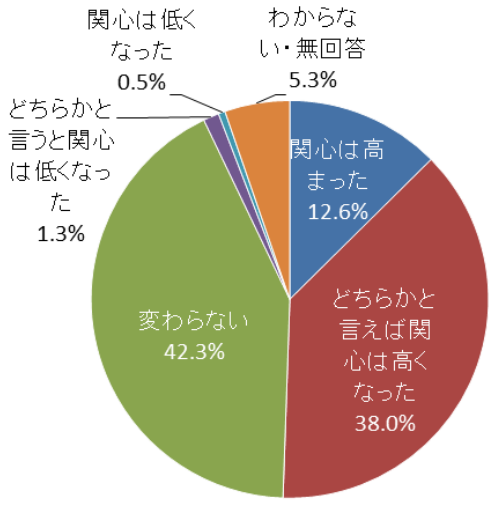
問5 森林・環境税では、県内に住所のある方、県内に屋敷等を持っている方から、お一人あたり1,000円をいただいています。この税率(額)についてどうお考えですか。  
(回答数 548 人)

	人数	割合
もっと高く設定すべき	30	5.5%
妥当である	301	54.9%
もっと低く設定すべき	98	17.9%
わからない	119	21.7%
合計	548	100.0%



問6 近年、森林や川、水環境、生物多様性、自然環境に対する関心は変化しましたか。  
(回答数 548 人)

	人数	割合
関心は高まった	69	12.6%
どちらかと言えば関心は高くなった	208	38.0%
変わらない	232	42.3%
どちらかと言うと関心は低くなった	7	1.3%
関心は低くなった	3	0.5%
わからない・無回答	29	5.3%
合計	548	100.0%



問7 その他、森林や自然環境に関する県の施策に対して、ご意見ご感想ございましたらお聞かせください。(件数 138 件)

【主な意見】

(広報・PRについて)

- 本税について、皆は知っているのですか？岐阜県は森林や川等自然に恵まれていてこれからも守らなければと思います。毎日仕事で忙しく、普段触れにくいことも多くもっと周知されるとよいと思います。県民を巻き込んで関わりができるとうれしいと思います。
- 森林、環境税も是としますが使い道等の公開を広く公開していただきたい。公開をしていると思いますが県民があるいは納税者が初めて公開といえるものだと思います。「公開しましたよ」「誰もがみれますよ」では公開になっていないと思います。県民が使い道を周知すれば税額も柔軟性もてるようになれると思われまます。
- この施策に限らず、行政に任せっぱなしにしないで、地域住民にできることは協力することが必要だと思う。それにはまず、地域住民の県施策への理解が重要だと思う。施策PRが不足しているのもっとPRが必要。また、市町村とのタイアップも重要と思う。
- 税金が徴収されていること自体の周知不足だと思う。県民が森林・環境税を納税していることを知れば、自分のお金がどのように利用されているか関心を持つようになると思う。そしてその関心がきっかけで環境保全の活動に変化することも期待できるのではないかな。
- 何に使われているかもっとPRが必要。県HPを見る人は少ない。補助金をもらっている団体と行政が連携し、もっと取材に来てもらい、新聞やTVで取り上げてもらう努力が必要。
- 森林環境税について年間でいくら徴収し、そのうちいくらを何にいつ使用し、それによって環境にどのような変化があったのか、細かくわかりやすく県民に伝えることで、さらに森林環境への関心が高まると思います。

(問題提起)

- それぞれの地域の状況やニーズに応じた対応が必要であり、各市町村がもっと問題意識を持って主体的に進めるべき内容だと考えます。
- とにかく、岐阜県では、中山間部の実情を直視し、野猿・野猪・野鹿・野熊の徹底的な駆除を全県挙げて取り組んでいただきたい。鳥獣害の被害は、ただでさえ過疎化・高齢化の進む中山間地域の限界集落への「臨終宣告」になってしまっている。
- 岐阜県は多くの世界遺産の登録を始め、自然環境の保全やその環境を活かした岐阜県ならではの活動をもっと進めるべきだと思います。他都道府県にはない独自の差別化を進めるときに、岐阜県には強みがいっぱいあると思いますが、PRも含め、思う存分前向きに施策を進めるべきだと思います。それに他府県からの移住・安住者の獲得にも、もっともっと力を発揮してもらいたいなと思います。
- 災害など山崩れなどの際、森林や川などを整備するのは必要だと思います。そのための森林環境税を引き上げ正しいことに使うのであれば、年額1000円を高く設定するのにも賛成です。
- 年に数回、里山登山に行っているが、間伐が進まず荒れているのがよくわかる。

### （使途について）

- 岐阜は自然に恵まれた県ですのでこれからもその自然を守る為に全県民で努力していきたい。小中学校などでも意識を高めるための授業をしていったほうがいい。
- こういう取り組みは、堅苦しくなってしまうと、みんな背を向けてしまうと思う。遊びや学びの中から自然に必要な感ずるような施策をもっと進めると良いと考える。公共の建物に木のぬくもり、香りを感じると、とても気持ちが落ち着く。学校、保育所はもとより、公民館等から会館に至る箱物にも可能な限り木をつかった建物（耐震、予算の問題はあるかもしれないが）を導入し、岐阜の豊富な自然を他の土地の方にアピールしてはどうか。
- 手つかずの杉林を手入れしていかないと災害は減らないと思うので杉林から手入れしていった方がよいと思います。
- 私は花粉症で毎年悩んでおります。戦後の荒れ地対策として成長の早い杉を山林としたそうですが、国内の材木需要が減少し、その管理が問題となっています。信念では「花粉の飛散しない杉」が開発されたとのことです。ぜひともこれを植林されて花粉の飛散防止に活用してほしいです。
- 雪で倒れた木々を少しずつ整備されつつあります。このまま進めていってほしいと思いますし、伸びきった木々の手入れもしていただければ幸いです。
- 日頃、岐阜県内で生活していて、森林・環境に対して力を入れている結果が生活を通して伝わってきている。保育の面での意見になってしまうが、木材を利用した施設か、木製を利用するなどといった導入には非常に高い好感が持てる。今、様々な地域で、様々な保育が展開されているが、基盤となるものは「環境」である。特に自然を通した保育は非常に子どもたちにも良く、自然に直接触れることが大切だと思っている。自分自身の意見になってしまうが、保育施設、学校等に木材を利用する考え方に私は賛成である。

### （その他）

- 森林環境税について知らなかったのですが、森や清流を守るということの大切さは意識しています。なかなか実動的なことはできませんので、せめて納めさせていただく環境税が森づくりの施策に、より良く使っていただけるならうれしいです。
- 添付のパンフレット（頁1）を参照しました。今後も森や清流を守る取り組みをどんどん活発に推進されることを願っています。
- 大人のおっさんも愉しめるような広い環境教育のイベントがあるといいなと思いました。楽しそうなイベントもだいたい親子が対象で悔しいです。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。